

2022年10月21日

**台湾における高レベル放射性廃棄物地層処分場のサイト選定前セーフティーケース報告書の
国際ピアレビュー委員として当社社員が参加しました**

2022年8月1日(月)～4日(木)、台湾電力の主催(共催:台湾原子力研究所)による台湾における高レベル放射性廃棄物地層処分場のサイト選定前セーフティーケース報告書のピアレビュー会議が開催され、本会議に当社社員の河西基(原子力バックエンド事業部理事)が、ピアレビュー委員として参加しました。

近年台湾では、原子力発電所の廃止措置が進む一方、高・低レベル放射性廃棄物の処分場のサイト選定検討に入っており、地質環境が類似する日本でのバックエンド研究に注目が集まっています。当社では2016年より、台湾の大手建設コンサル会社との協力協定の下、バックエンド分野の技術協力業務を継続していますが、この活動を中心となって推進している河西は、今回、台湾にて開催された「高レベル放射性廃棄物の地層処分施設に関するサイト選定前段階における処分施設の安全確保技術検討の報告書(SNFD2021 Report)」の技術レベルを審査レビューする委員会メンバーの一人として招聘されました。河西の他にはスウェーデン、フィンランド、イギリス、他日本の専門家と合わせて5名の委員が約3か月間の審査レビューの一環として参加しました。

新型コロナの感染対策がまだ厳しく制約されている中での開催ではありましたが、台湾電力・台湾原子力研究所等の専門家とのホットな集中審議を台湾側からの個別課題ごとの説明及び事前に各専門家から提出した100件ほどの質問・意見表をもとに行い、総括的なレビュー意見を表明して閉会しました。帰国後にレビュー報告書の取りまとめを行った後、窓口となっていた台湾原子力情報センターを通して台湾電力に無事に提出いたしました。台湾原子力情報センターからは感謝レターをいただいております。

本レビュー委員会報告書は今後、対象報告書とともに台湾行政院の原子能委員会放射性物料管理局に提出される予定であり、それを受けて高レベル放射性廃棄物処分事業の重要なステップとなる2025年のセーフティーケース本報告書の取りまとめの公表やサイト選定プロセスの開始という処分事業の新たな段階への進展につながるものと期待されています。

今後も当社は、台湾の人々との国際協調をさらに深化させ、双方に有益な国際協力関係を一層強固にしていけるよう、関係各方面と連携してまいります。

以上



会議後の親睦会の様子



台湾原子力情報センターから
いただいた感謝レター